



「学校教育目標」
 絆を深め、地域社会に
 貢献できる生徒の育成
 ○自ら学ぶ ○思いやる
 ○体を鍛える

何かにトライする一年に (始業式の言葉)

文責 竹田 圭志

明けましておめでとうございます。

17日間という、少し長い冬休みとなりましたが、充実した毎日を過ごせたことと思います。

やはり、お正月は一年の大切な節目ですので、年末年始、たくさんの目標と闘っている人たちの姿がテレビなどのマスメディアを通じて紹介されました。元日に開催されたニューイヤー駅伝（全日本実業団駅伝）では、小川町にも工場のある HONDA の駅伝チームが埼玉県代表の実業団チームとして参加し、念願の初優勝という栄冠を手に入れました。選手一人一人が具体的な目標を立て、取り組んできた努力が成果として花開いた瞬間だったと思います。

もちろん、誰もが努力すれば必ず報われるわけではありません。ただ、挑戦しなければ結果を得る資格は得られない。1992年バルセロナ・オリンピックで男子マラソン銀メダルに輝いた森下広一選手がレース後に、「金メダルは狙ってとれるものではない。でも、狙わない限り、絶対に獲ることはできない。」と、金メダルには届かなかっただけでも、金メダル獲得に向け努力し続けた自分自身をねぎらった言葉が、30年経った今でも私の胸に残っています。



今年は寅年、何かと「トライ（挑戦）」することが取り上げられます。ぜひ、小さなことから構いません。何かに挑戦するそんな年にしてください。

3学期は、4月から迎える新生活への助走の時期です。走り幅跳びがよい例ですが、助走はただ「がむしゃら」に走っても駄目、適度なスピードとリズムが大切です。しっかりと頭を使って計算した生活が、年度末の踏切、そして、来年度に向けた大ジャンプにつながります。皆さんの大きな飛躍を楽しみにしています。特に、3年生の皆さん、踏切直前の一番大切な時期ですね。理想的な走り幅跳びは地面（踏み切り板）を見ずに踏み切ります。踏み切る瞬間、遙か遠くの空を見上げる勇気が大切です。「踏み切り板に足が合うかどうか」ではなく、「足が合うと信じて最高の踏切をする」。最終的には自分を信じることに集中してください。

新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株がここ数日で急激に増えています。重症化リスクは低いと言われていますが、油断は禁物です。これからも、感染予防に向け慎重な生活をしていきましょう。

2ヶ月半という短い3学期ですが、本校の掲げる『目指す生徒像（学び、鍛え、尽くす生徒）』にたくさんの場面で出会えることを楽しみにしています。



2学期終業式 生徒代表の言葉 (12/24)

各学年代表の皆さんが2学期の振り返りと3学期の抱負を力強く語ってくれました。

2学期中に色々な挑戦があったこと、工夫して課題を克服できたこと、反省点を次に活かしていきたいこと、目標を明確にしていきたいことなど具体的なお話でした。

感染拡大防止の具体策について

明日から授業がスタートします。新型コロナウイルスの感染拡大防止に対する本校の具体策についてお知らせいたします。基本的には、今までの感染予防対策を継続させて参りますが、オミクロン株の感染後の症状として、「単なる風邪症状」「翌日には急激に回復」など、コロナウイルスに感染していることすら気づけないとの情報もあります。ぜひ、感染拡大防止のため、慎重な対応にご協力ください。

(1) 家庭での健康状態の把握と学校への連絡

- ・生徒本人に風邪症状（発熱、咳、鼻水など）がある場合は登校を見合わせ、できるだけ医療機関の受診をお願いします。出席停止となります（医療機関受診の有無にかかわらず）。
- ・同居家族に同様の症状（新型コロナウイルス感染の疑いがある症状）がある場合は、登校前に学校に連絡をお願いします。
- ・アレルギー性鼻炎等で頻繁にくしゃみや鼻水などの症状が出るお子さんの場合は、あらかじめ担任に状況をお知らせください。できたら、医療機関を通して薬を処方していただくなどの対応をお願いします。

(2) 登校時の健康観察の徹底

- ・朝の会で健康観察カードを回収します。登校前に家庭で検温を徹底させてください。
- ・部活動の朝練習に参加する生徒は、顧問に健康観察カードを提出してください。

(3) 登校後に風邪症状の場合

- ・登校後に発熱や体調不良（明らかな風邪症状）が生じた場合は早退となり、保護者に迎えに来ていただくこととなります。この場合、緊急連絡先となっている職場等にも連絡させていただくこともありますのでご承知おきください。状況により保護者に確認の上、兄弟姉妹の通学する学校等へ連絡を入れることがあることをご理解ください。

(4) 校内全ての教室等で、十分な換気を行います。

- ・常時適切な換気を行い、二酸化炭素測定器で空気の汚れ具合を常にチェックします。

(5) 休み時間に手洗いや手指消毒を徹底

- ・教室や特別教室、トイレに入る前と出た後には必ず手洗いか手指消毒を徹底させます。

(6) 文科省等のマニュアルに従って授業中の3密や飛沫を回避します

- ・前後、左右めいっぱい端まで机を広げて、人と人との間隔を適切に確保します。
- ・長い時間の対面での話し合い活動は行いません。
- ・当分の間、リコーダー演奏、マスクなしでの歌唱練習、調理実習は実施しません。

(7) 給食時の感染防止対策

- ・全員に十分な手洗いをさせた上で準備をさせます。
- ・教師も含め全員が向かい合わせにならないようにし、黙って食事します。

(8) 清掃時の感染防止対策

- ・通常の清掃を実施しますが、状況により実施方法を検討します。清掃後に十分な手洗いや手指消毒を徹底させます。

(9) 誤解や偏見に基づく差別的な言動に対し毅然とした指導を行います

(10) 登下校時もマスクは着用させます

- ・冬季であっても熱中症が心配されますが、原則、マスクを着用での登下校をお願いします。体調不良の危険がある場合は外して構いません。マスクはできる限り感染予防効果の高い「不織布」のものを使用するようにしてください。

(11) オンラインや紙面を活用して対応していきます

- ・突然の臨時休業や保護者会等の学校行事に保護者を招待できない事態も想定し、オンラインやプリントでの家庭学習、紙面を活用した保護者会への変更など、感染状況に配慮しながら最善を尽くして対応して参ります。